

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年6月24日 (2010.6.24)

【公表番号】特表2009-536174(P2009-536174A)

【公表日】平成21年10月8日 (2009.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-040

【出願番号】特願2009-508332(P2009-508332)

【国際特許分類】

C 0 7 D 251/54 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

C 0 7 D 251/56 (2006.01)

A 6 1 K 31/53 (2006.01)

A 6 1 P 17/16 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 251/54 C S P

A 6 1 K 8/49

A 6 1 Q 17/04

C 0 7 D 251/56

A 6 1 K 31/53

A 6 1 P 17/16

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月26日 (2010.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

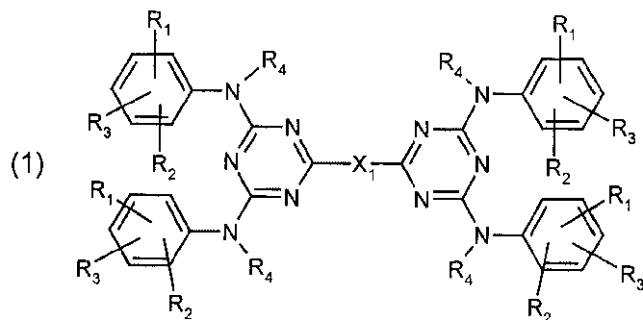
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

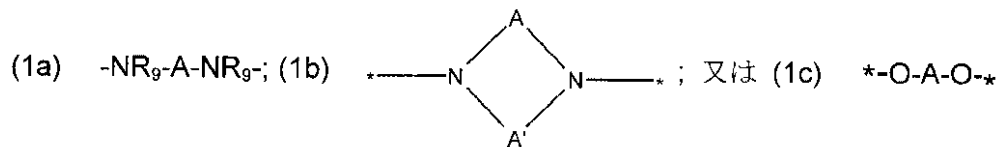
式

【化 1】



[式中、
X₁ は、式

【化 2】

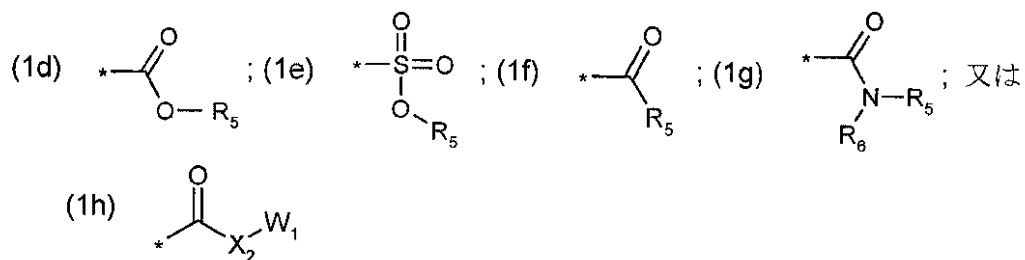


で表わされる 2 価の基を表わし、

A 及び A' は、互いに独立して、炭素原子数 5 ないし 12 のシクロアルキレン基、N、O 又は S によって所望により中断された、未置換の又は置換された、直鎖の又は枝分かれした炭素原子数 1 ないし 12 のアルキレン基；炭素原子数 5 ないし 12 のシクロアルキレン基；ビフェニレン基；炭素原子数 6 ないし 10 のアリーレン基；又は、炭素原子数 5 ないし 10 のアリーレン - (炭素原子数 1 ないし 12 のアルキレン) 基を表わし；

R₁ は、式

【化 3】



で表わされる基を表わし；

R₂ 及び R₃ は、互いに独立して、水素原子；炭素原子数 1 ないし 12 のアルキル基；OR₇；NR₇R₉；炭素原子数 6 ないし 10 のアリール基を表わし；

X₂ は、O 又は NH を表わし；

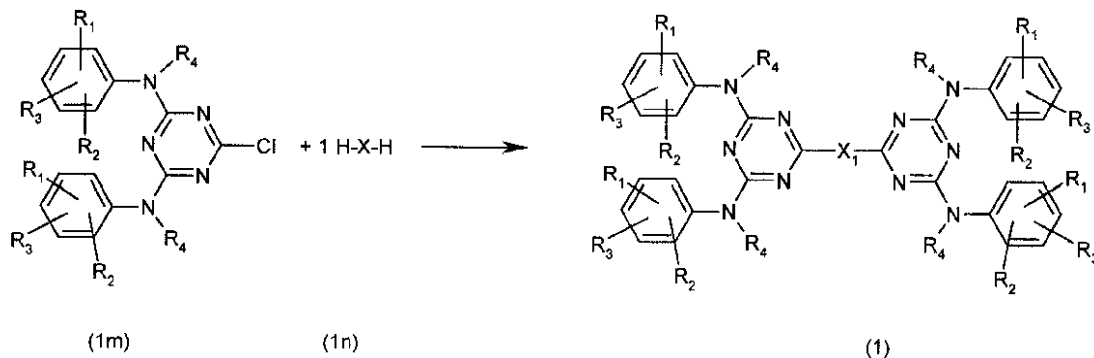
W₁ は、炭素原子数 1 ないし 20 のアルキル基；又は基 Sp - Si1 (ここで、Sp は、直鎖の又は枝分かれした、飽和した又は単不飽和の又は多不飽和の炭素原子数 3 ないし 12 の炭化水素基を表わし；Si1 は、シラン；オリゴシロキサン又はポリシロキサン部分を表わす。) を表わし；及び、

R₄、R₅、R₆、R₇、R₈ 及び R₉ は、互いに独立して、水素原子；炭素原子数 1 ないし 12 のアルキル基；又は炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルキル基を表わす。] で表わされる化合物。

【請求項 2】

式 (1) で表わされる化合物の製造方法であって、以下の反応スキーム

【化 4】



(式中、R₁、R₂、R₃、R₄ 及び X₁ は、請求項 1 で定義した通りである。) に従って、式 (1m) で表わされるクロロトリアジン 2 モルと式 (1n) で表わされる化合物 1 モルとを反応させることを含む方法。

【請求項 3】

微粒化された、式 (1) で表わされる化合物の製造方法であって、適切な溶媒から湿式粉

砕、湿式混練、噴霧乾燥することによって、式(1)で表わされる化合物の適切な溶媒からのRESS法に従った膨張によって又は再沈殿によって、0.02ないし2 μm の平均粒子サイズを有する微粒子を得ることを含む方法。

【請求項4】

化粧品的に許容可能なキャリアー又は補助剤と一緒に、少なくとも1種の、請求項1に記載の式(1)で表わされる化合物を含む化粧品組成物。

【請求項5】

式(1)で表わされる化合物が微粒化状態で組成物中に存在する請求項4に記載の化粧品組成物。

【請求項6】

(a) 0.02ないし2 μm の粒子サイズを有する、少なくとも1種の微粒化された式(1)で表わされるUV吸収剤、及び、

(b) 適切な分散剤

を含むUV吸収剤分散体。